

3 - 14 神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測(1996年5月～1997年4月) Variation in Earth Resistivity at Aburatsubo (May,1996-April,1997)

東京大学地震研究所
地震予知研究推進センター
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

神奈川県油壺で岩石比抵抗の連続観測を実施している。1996年4月までの観測結果はすでに報告している¹⁾ので、今回は同年5月より1997年4月までの観測結果について報告する。

第1表および第1図は地震時の比抵抗変化を示す。図89から92はほぼ地震を中心として12時間、93から96は短時間に地震による比抵抗変化が多数記録されたため、まとめて48時間に示した。いずれも地震時の変化で前兆的变化はないと推測される。89の比抵抗変化は増加、90から96は減少している。地震時の比抵抗変化は大体4月頃から10月頃にかけては増加、その他の期間は減少という傾向があり、今回もその様になっている。93から96までは伊豆半島東方沖地震による比抵抗変化である。M4.9による変化はM4.5やM5.0による変化に比べて小さいが、この原因についてははっきりしない。M4.9とM5.7の間の変化はほぼ直線的になっているが、この間の潮位の変化は小さく、それに対応した変化と推測される。地震のマグニチュード、緯度、経度、の他は気象庁の震源速報により記した。

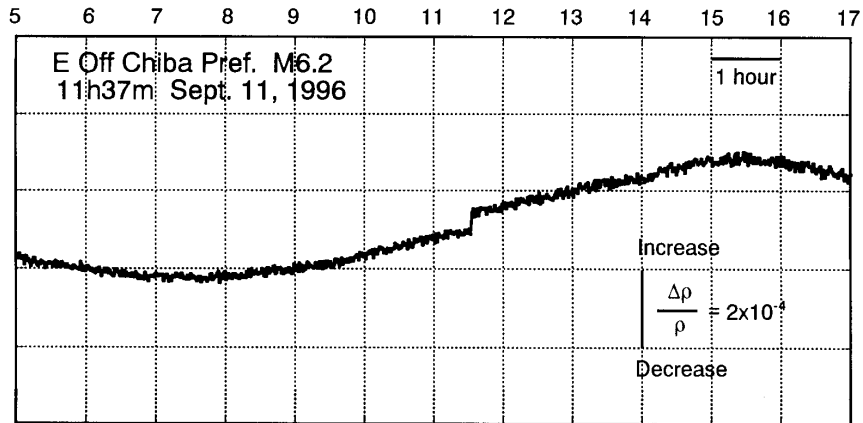
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所・地震予知研究推進センター：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測，連絡会報，56(1996)，252-254.

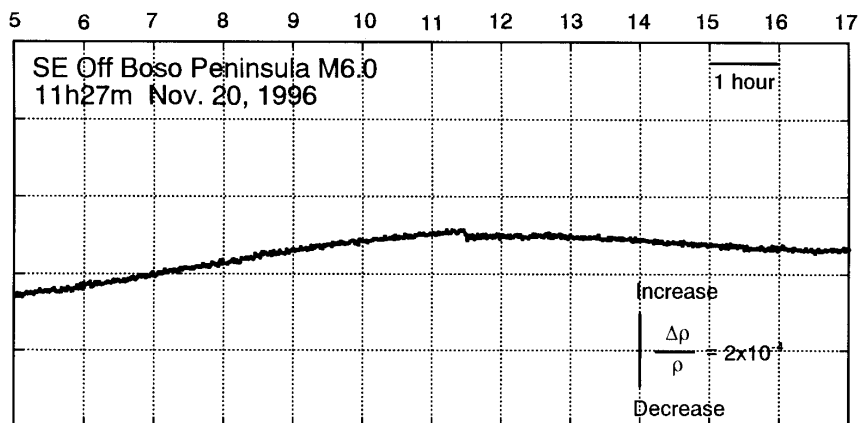
第1表 油壺における比抵抗変化を伴った地震とそれによる比抵抗変化

Table. 1 Resistivity changes at Aburatsubo associated with earthquakes.

番号	年月日	時分	マグニ		経度	深さ Km	震央距 離 Km	比抵抗変化 x 10 ⁻⁴	備考
			チュード	緯度					
89	960911	1137	6.2	35°38'	141°12'	53	150	+0.5	千葉県東方沖
90	961120	1127	6.0	34 21	141 17	54	175	-0.2	房総半島南東沖
91	961128	1640	5.2	34 38	140 20	69	85	-0.2	房総半島南東沖
92	961221	1028	5.4	36 06	139 52	53	110	-0.4	茨城県南部
93	970303	2010	4.5	34 58	139 11	8	45	-0.2	伊豆半島東方沖
94	970303	2309	5.0	34 58	139 10	3	46	-0.9	伊豆半島東方沖
95	970304	0030	4.9	34 58	139 10	0	46	-0.2	伊豆半島東方沖
96	970304	1251	5.7	34 57	139 10	2	47	-1.6	伊豆半島東方沖



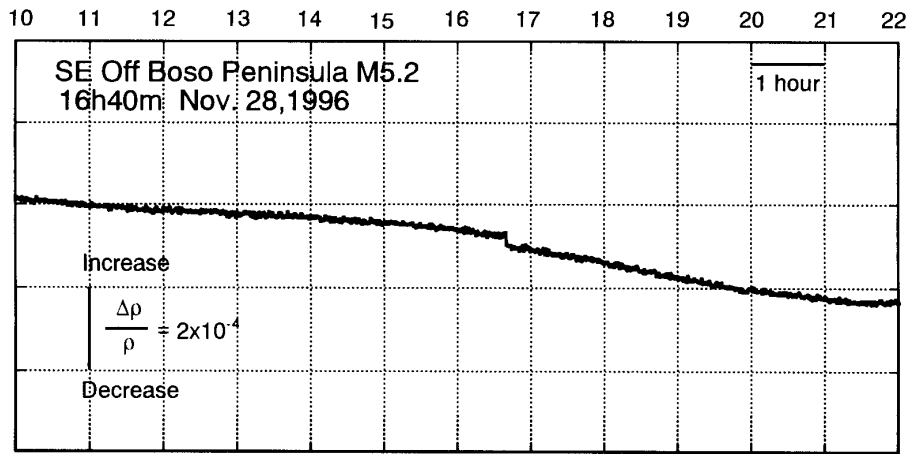
89



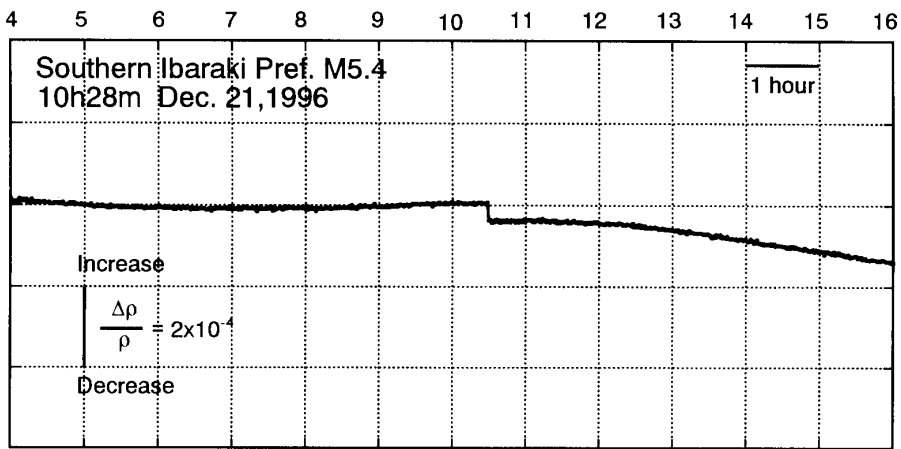
90

第1図 油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化

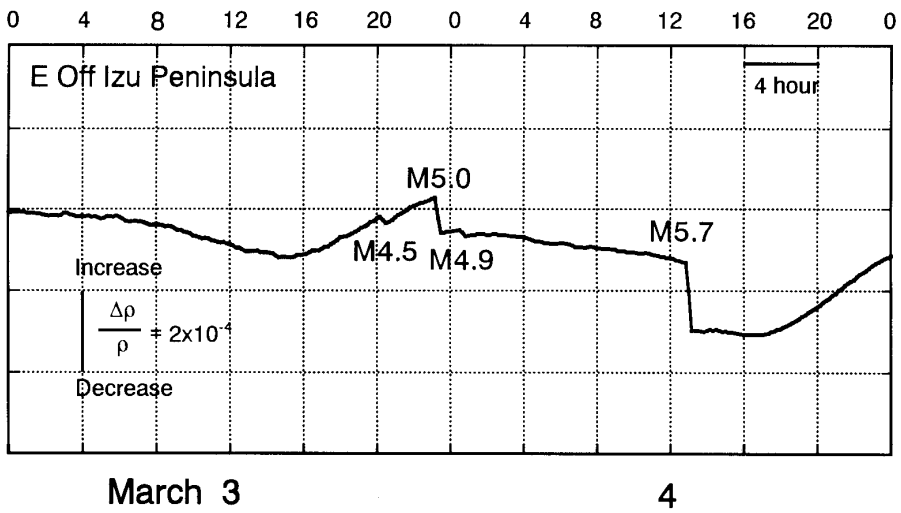
Fig. 1 Changes in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with earthquake occurrence.



91



92



93

94

95

96

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)